

\*\*\*\*\*

## ニュースレター・JASESS No.95

\*\*\*\*\*

社会・経済システム学会 2016年5月20日

風薫る5月となりました。今年度大会のご案内と昨年度大会のご報告を中心に、ニュースレター・JASESS No.95をお届けいたします。

### ■社会・経済システム学会第35回大会のご案内

第35回大会は、和歌山大学で開催することになりました。

大会テーマ：「人口減少時代の社会・経済システム」

開催日：2016年10月29日（土）・30日（日）

場所：和歌山大学

大会実行委員長：出口 竜也会員

連絡先：〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学観光学部 出口竜也研究室

社会・経済システム学会大会実行委員会

e-mail: deguchi@center.wakayama-u.ac.jp

#### 【大会テーマ趣旨説明文】

2008年に始まった日本における人口減少は、今後加速度的に進むことが予想されている。

東京を中心とした大都市圏へのヒト、モノ、カネ、情報の集中が地方に人口の流出・減少と経済の縮小をもたらすことは、かねてから指摘されていたことである。今後は大都市圏においても少子化・高齢化の進展と地方からの若者流入の減少などの影響が及び、人口減少の局面が訪れることは不可避である。いわゆる団塊の世代の大量退職と出生数の減少による労働力人口の急速な減少と消費者不足、大都市圏における団塊の世代の継続的居住による医療・福祉施設やサービスの絶対的不足と地方以上の出生率の低さ、先行して人口減少が進展している地方における各種インフラの維持の問題など、日本は大都市圏においても地方においてもこれまでの社会・経済システムの抜本的な見直しを迫られていると言ってよい。

少子化・高齢化の波は世界中で大同小異の現象として顕在化しており、特に韓国・台湾・シンガポール・香港などは日本以上に出生率の低下が深刻である。また、人口大国である中国においても、近い将来人口の伸びが止まるとともに急速な高齢者の増加によってさまざまな問題が新たに発生することが懸念されている。他方、少子化・高齢化の先進地域であった欧州諸国の中には、北欧諸国やフランスのように各種政策が功を奏し、出生率の回復を実現させた国も確認される。こうした状況のもと、われわれは待ったなしで到来しつつある人口減少社会にどのように対処していかなければならないのであろうか。

本大会では、「人口減少時代の社会・経済システム」という大会テーマのもと、企業・産業、労働、消費、行政、家族、地域社会、情報、観光、交通、医療、福祉、教育、移住、移民など、多様な観点からの理論的、実践的な研究の発表と盛んな議論が行われることを期待する。

1. 報告をご希望の方は、所属機関・氏名・報告論題・報告要旨（400字～600字程度）を2016年6月16日（木）必着で下記メールアドレス宛にご連絡ください。なお、報告要旨等はPDFファイルまたはワードファイルにご記載頂き、添付ファイルにてお送りください。

送付先：conference@jasess.jp

ご報告の採否は2016年7月末ごろまでにご通知する予定です。

2. ご報告いただくことになった際には、2016年9月15日（必着）でA4版×2枚ないし4枚（偶数枚のみ）の報告要旨原稿をお願いすることになりますので、あらかじめご了承ください。

## ■『社会・経済システム』第37号について

学会誌『社会・経済システム学会』第37号への投稿につきましては、2016年4月末に、大会関連論文、一般投稿論文ともに締め切りました。

ご意見、ご要望等ございましたら、編集委員会までご一報よろしくお願いたします。

e-mail: socsys\_editorial@degulab.org

## ■第34回大会は好評裡に終了しました。

社会・経済システム学会第34回大会は、「コンフリクトから見る社会・経済システム」と題する大会テーマのもと、2015年10月24日（土）・25日（日）の両日、法政大学で開催されました。

大会1日目午後の記念講演では、「システム対抗とコンフリクト」と題して、岩田昌征先生（セルビア科学アカデミー）にご講演いただきました。大会テーマのもと、両日にわたり分科会・企画シンポジウムにおいてそれぞれの報告者からこの分野における研究の最新動向について報告が行われるとともに、大会は盛況のうちに終了することができました。大会の開催に尽力されました法政大学の徳安彰実行委員長をはじめとする大会実行委員の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

## ■シニア会員制度の導入について

2015年10月24日（土）の総会において、本学会に新たに「シニア会員」の制度を導入することが提案され、承認されました。制度の詳細につきましては、後日、会費払込用紙とともにお送りするお知らせをご覧ください（すでに名誉会員となられている先生方には送付しません）。

## ■2014年度会計報告および2015年度予算

2015年10月24日（土）の総会で承認された2014年度決算と2015年度予算について、次のとおりご報告申し上げます。

## 社会・経済システム学会 2014年度 会計報告

## 1.収支決算書(2014年4月1日～2015年3月31日)

支 出		収 入	
通信費	117,419	会費	1,515,000
消耗品費	2,073	一般会員	(1,407,000)
アルバイト謝金	2,000	学生会員	(108,000)
大会準備費	25,480		
大会運営費	270,074	利子	1,420
理事会費	91,560	三菱東京UFJ銀行(普通)	(359)
機関誌編集委員会費	52,919	ゆうちょ銀行(普通)	(1,061)
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
印刷費(機関誌第35号等)	693,468		
関東部会費	30,000		
関西部会費	0		
HPシステム保守費	54,433	機関誌バックナンバー販売	11,115
HPサーバ管理費(3年間)	64,800		
HPサーバ移転費	108,000		
当期支出小計	1,562,226	当期収入小計	1,527,535
次期繰越金	4,586,082	前期繰越金	4,620,773
合計	6,148,308	合計	6,148,308

## 2.貸借対照表(2014年3月31日現在)

借 方		貸 方	
現 金	1,057	次期繰越金	4,586,082
三菱東京UFJ銀行(普通)	1,591,104		
ゆうちょ銀行(普通)	2,993,921		
合計	4,586,082	合計	4,586,082

## 社会・経済システム学会 2015年度 予算

## 予算 (2015年4月1日～2016年3月31日)

支 出		収 入	
通信費	120,000	会費	1,400,000
消耗品費	30,000	一般会員	(1,260,000)
アルバイト謝金	10,000	学生会員	(140,000)
大会準備費	25,000	機関誌バックナンバー販売	12,000
大会運営費	250,000		
理事会費	60,000		
機関誌編集委員会費	100,000		
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
印刷費(機関誌第36号等)	600,000		
関東部会費	30,000		
関西部会費	30,000		
HPシステム保守費	55,000		
当期支出小計	1,360,000	当期収入小計	1,412,000
予備費	4,638,082	前期繰越金	4,586,082
合計	5,998,082	合計	5,998,082

## ■新入会員紹介

次の方々の入会が2015年10月24日（土）の総会で承認されました（敬称略）。

	氏名	所属	専門分野	区分
1	サトウ アキヒロ 佐藤 彰洋	京都大学大学院情報学研究科	数理工学	一般
2	サイ エンナ 崔 艶娜	福岡大学大学院	経済学史	学生
3	コバヤシ フキコ 小林 富貴子	放送大学大学院	生活健康科学、リスクマネジメント論、歯科医療	学生
4	オギノ コウタロウ 荻野 幸太郎	静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科	経営情報イノベーション	学生
5	オカモト ヨウイチ 岡本 洋一	同志社大学大学院社会学研究科	社会学	学生
6	タカヤ マサヒコ 高屋 雅彦	近畿大学医学部 精神神経科学教室	精神医学	一般
7	ヤマダ トモキ 山田 知熙	東京大学大学院学際情報学府	社会情報学	学生
8	カタダ メグミ 堅田 恵	同志社大学大学院社会学研究科	社会学	学生
9	イガラシ アキラ 五十嵐 輝	芝浦工業大学大学院	おたく論	学生
10	リュウ イセツ 劉 維雪	福岡大学	経済学史	一般
11	カワハラ ヒロフミ 川原 裕史	福岡大学大学院	経営学	学生
12	スガイ マサコ 菅井 理子	福岡大学大学院	経済学	学生

## ■会費納入のお願い

年会費納入のご案内と会費納入の払込用紙（ヤマトフィナンシャル社〔収納代行業者〕の様式）につきましては、本ニュースとは別便にて、近日中に発送する予定です。

今年度も会費ご納入のほど、よろしく願い申し上げます。

## ■変更届提出のお願い

ご住所、ご所属、その他、会員情報にご変更がございましたら、上記学会事務局までお知らせください。

また、変更・入会・退会に関する手続きについては、学会公式ウェブサイトの

<http://jassess.jp/info/admission.html> からご覧になれます。

\* ニュースレター等配布物の返送が相次いでおります。送付先変更がございましたら、速やかに上記事務局メールアドレスまでお知らせくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。